

topics

りんご技術強化を図る

01

紙漣沢の園地で6月4日、紙漣沢りんご支会の巡回講座が行われ、21人が参加した。りんご協会から生育状況や摘果の仕方のおさらいなどが報告され、参加者は話に耳を傾けていた。当JAの販売課からのりんごの販売状況なども説明された。

次に同地区の三上博幸さんによる接ぎ木講習も行われ、参加者は穂木を付けた部分をしっかりと固定するなどのポイントを抑えようと真剣に学んでいた。



接ぎ木の仕方を学ぶ会員ら

topics

有利販売へ向けて 団結を深める

02

6月13日、ロマンシアにて、りんご販売担当者会議が開催された。当農協とのリンゴ販売に携わっている県外市場の販売担当者や、全農あもりなど24名が参加した。三上組合長の挨拶の後、市場関係者らによる販売情勢が報告され、30年度産の状況と令和元年度産への抱負を述べるなどして、情報交換を密にした販売情勢の強化を図ることを再確認した。



令和元年度産へ決意表明する全農リンゴ販売部長

topics

生産者へ思い伝える

03

晩生種精算報告会が6月20日、JA本所と相馬ふれあい館の2カ所にて開催された。

このうち相馬ふれあい館では、大場専務が挨拶し、30年度の精算の詳細やこれからのりんご販売戦略などを述べた。その後、(株)東京青果 渡邊審議役からは30年度の市場情勢や現在の状況、黄色・赤色品種についての需要の状況が話され、「手間はかかるが赤色品種を守っていくためにも頑張つて高品質大玉生産に尽力を尽くしてほしい」と生産者に伝えた。



赤色品種の大切さを話す渡邊審議役

topics

入庫方法の変更に 注意を

04

6月17日、第3巡回講座が開催された。振興課から生育状況や夏場の病害虫防除について、中南農業振興室から展着剤の種類と効果についてそれぞれ説明された。また、販売課から30年度産りんごの販売動向や、令和元年度産りんごの入庫方法の変更が説明され、生産者に理解を求めている。

次回の開催は8月の開催になりますので多くの参加をお待ちしております。



早期害虫防除に取り組みましょう





綺麗な色が着きますように

相馬小学校3年生の児童が、7月3日、りんごの袋掛け作業を行った。

初めに袋かけの方法が説明され、児童らは難しそうに聞いていたが、実際に袋かけを見せながら教えると少し理解したようで、その後自分達で絵と名前を書いた袋を使い、袋掛けを始めた。破けてしまったり緩く袋が掛かったりして苦戦苦闘していたが、周りにいる父兄の方や先生に聞きながら作業に当たっていた。

作業後の質問では、袋掛けの必要性などが質問されたり、袋を剥いだ直後のリンゴの色は何色？などの問題に児童は答えていた。その答えは9月に袋を剥いだ時のお楽しみとして、児童たちはワクワクしながら次回の袋剥ぎ作業を楽しみにしていた。



袋のかけ方の説明を受けイメージを膨らます児童達



実際に袋の掛け方を見て覚える



自分のアピールも込めた自慢の絵



破けないようにゆっくーり



色付きが良くなりますように